

名張市立北中学校区
「魅力ある学校づくり」
推進プラン

目指す児童・生徒像

互いに認め合う仲間と共に行動し、学ぶ喜びや自己有用感をもつことができる児童生徒

三つの柱

「分かる授業づくりと学習意欲の向上」

「豊かな人間関係と居場所づくり」

「生き方を学ぶ教育活動の充実」

目 標

主体的に取り組む意欲や
態度の育成

自分や友だちを大切にする
児童生徒の育成

様々な活動や出会いを通して
夢や希望を持って生活する力の育成

取 組 内 容

学びの基盤づくり

- 授業の構造化
- 学習規律の共通化
- 家庭学習の充実

- ・「授業スタンダード」の確立
- ・「学習規律」の共通化による安心して学べる環境づくり
- ・具体的な方法を示した家庭学習の推進

共に学び合う学習活動

- 「学習形態」を工夫した主体的な授業づくり
- 「主体的に学ぶ姿」の共通化

- ・「学び合い学習」や「ペア・グループ学習」による課題解決
- ・「しっかり聴く、すすんで発表する、ねばり強く考える」の主体的に学ぶ姿の共通化
- ・「肯定的な評価」による指導

社会的なスキルの育成

- 共通項目の設定と定着
- 共通した月間目標の設定

- ・「生活の心得 3か条」あいさつ
- 時間を守る
- 清掃活動 の実践
- ・共通の強化月間の設定

自己や他者を大切にする
集団づくり

- 学校行事を通じた集団づくり
- 児童、生徒会、係活動の充実

- ・集会や発表会など、子どもが活躍する場面設定
- ・責任感や自主的な活動となる内容設定
- ・肯定的な「振り返り」による認め合う場面設定

心にひびく授業実践

- 出会いや体験活動の実践
- 自分の考えを持つ場面の設定

- ・ゲストティーチャーの活用
- ・体験的な学習活動の設定
- ・人権教育や道德教育の充実

幼小、小中、地域との
連携

- 異年齢集団との交流
- 地域の人々との交流

- ・縦割り活動の導入
- ・地域の施設や人々との交流
- ・教師の共通研修

具体的な「アクションプラン」の作成

アクションプラン

分かる授業づくりと学習意欲の向上

学びの基礎づくり

共に学び合う学習活動

・「授業スタンダード」の確立 (授業形態の工夫)

「めあて」 → 「個々で考える」 → 「全体で深める」 → 「振り返り」

「授業形態の工夫」 ペア・グループの活用による課題解決等

・役割分担を明確にした話し合い活動 ・話し合い・進め方の技能習得

・「学習規律」の共有化

小学校

中学校

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席をしよう ・相手の方を見て、話を聴こう ・「わからない」ときは「教えて」と言いましょう ・返事は「はい」とはっきり言いましょう ・次の授業の準備をしよう | <ul style="list-style-type: none"> ・始業前の学習準備と1分前着席をしよう ・自分の考えをわかりやすく伝えよう ・「教えて」と言われたら「わかる」まで教えてあげましょう ・「聴く」「書く」「考える」「話す」の区別をしよう ・ノートの整理を工夫しよう |
|---|--|

・「主体的に学ぶ姿」の共有化 (教室掲示)

・すすんで発表する ・しっかり聴く ・ねばり強く考える

・「家庭学習」の充実

- ・具体的な学習方法を指導（「学習の手引き」等の活用） ・原則一人でできる内容の課題
- ・学年（子ども）の実態に応じた内容や時間の基準を設定 ・保護者への呼びかけ、啓発

・授業場面での肯定的評価 (有効的な「ほめる、認める、肯定する」などの指導)

【聞こえる】	反応	確かめる	つなぐ	その場面を逃さない
【見える】	参加	前のめり、身振り手振り	聞き耳	教師の意識

変化を知る指標

「意識調査」による
共通項目

- ・学校が楽しい
- ・みんなで何かをするのが楽しい
- ・授業に主体的に取り組んでいる
- ・授業がよくわかる

「学習」にかかわる
独自項目

- ・「振り返り」では内容や考えをまとめている
- ・家で勉強をしている

PDCA

PLAN

DO

CHECK

意識調査
チェック
シート

振り返り
シート

ACTION

アクションプラン

豊かな人間関係と居場所づくり

社会的スキルの育成

自己や他者を大切に集団づくり

生き方を学ぶ教育活動

心に響く授業実践

小小・小中・地域との連携

・「共通項目」の設定 (生活の心得 3か条)

小学校	中学校
・元気にあいさつをしよう	・自分からあいさつをしよう
・時間を守って行動しよう	・自分から時間を意識して行動しよう
・まじめにそうじをしよう	・掃除では責任をもって役割をやりきろう

・強化月間の設定
実態に合わせたあいさつレベルでの指導

5 だれにでも
4 自分から
3 相手を見て、届く声で
2 声を出して
1 笑顔で会釈

・肯定的な「振り返り」等による、互いに認め合う場面の設定

- ・集会や発表会など子どもが活躍する場面
- ・学校行事
- ・児童会、生徒会活動、係活動

互いを認め合う「振り返り」の場面を設定

・出会いや体験を通じた授業実践

- ・地域の人やゲストティーチャー等の活用
- ・体験的な活動の導入
- ・人権教育や道徳教育

自分の考えを持たせる指導
自分たちで解決する経験

・地域の人や異年齢集団との交流

・小小、小中、地域との連携

変化を知る指標

「生活の心得」にかかわる
独自項目

- ・自分から進んであいさつをしている
- ・掃除の時はまじめに取り組んでいる
- ・時間を意識して行動している

「自己有用感」にかかわる
独自項目

- ・私はだれかの役に立っている
- ・まわりは私の良い所をわかってくれている

PDCA

